

県教委発表『学ぶ力を育み心に寄りそう緊急プラン』に対する見解と提言

～全教職員配布～

2008年9月

高知県教職員組合・高知県高等学校教職員組合

はじめに

高知県教育委員会（以下県教委）は、2008年7月4日に「学ぶ力を育み心に寄りそう緊急プラン～『学力向上・いじめ問題等対策計画』～」(以下緊急プラン)を発表しました。わたしたち高知県教職員組合(以下県教組)、高知県高等学校教職員組合(高教組)はこの緊急プランに対し、見解と提言を発表することにしました。

県教委の施策は国の教育振興基本計画に基づいたものであり、また、全国学力・学習状況調査(以下全国学テ)の結果向上を至上命題としたものであり、子どもや学校・教職員の実態からかけ離れたプランです。緊急プランは、「学校・学級改革」、「教員指導力改革」、「幼児教育改革」、「心の教育改革」、「放課後改革」の5項目から構成されています。本提言は、緊急プランで示された「今後の方向性と具体的な方策」のうち、「学校・学級改革～児童生徒の基礎学力の定着と学力の向上～」について、県教組・高教組の見解と提言を述べました。今後、他の項目についても、順次対案を発表していく予定です。

ぜひ、多くの方々に私たちの提言を読んでいただき、ご意見をお寄せいただきたいと思います。

「計画期間及び目標」について

緊急プランでは、2011年度までの4年間で、「学力を全国水準にまで引き上げる」、「生徒指導上の諸問題の発生率をまずは全国水準にまで改善する」ことを目標に掲げています。教育活動における成果を4年間という短期間で切ること、成果を示す指標として数値目標を用いることは、教育条理に反する行為と言わざるをえません。また、何よりも学校現場や県民の合意を抜きにしたトップダウンの手法であること、教育の自由や教職員が子どもと向き合う時間をさらに奪いかねないものであること、全国学テとPDCAサイクルにもとづく教育の国家統制をさらにおしすすめるものであることを厳しく批判しなければなりません。

1「自ら学ぶ力を育てる教育の推進」について

(わくの中は、県教委「緊急プラン」の内容です。

以下、同じ)

今後の方向性

将来の夢や希望を描き、自己実現をめざすことができるよう、全ての教育活動を体系化し、児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育に全教職員で取り組むことにより、興味関心や意欲を育てる学習活動を促進する。

具体的な方策

＜発達段階に応じたキャリア教育の推進＞

発達段階にあわせて、「人間関係を築く力」「働くことや仕事を理解する力」「将来を設計する力」「意思を決定する力」の4つの力をバランスよく身に付けられるよう支援する。

＜県教組・高教組見解(以下「見解」と略)＞

「自ら学ぶ力」を育てる方法を、キャリア教育

に矮小化していることが問題です。高知県の子どもたちが、どうすれば自ら学ぶ子どもになるのか学校教育・社会教育・福祉行政も含めた総合的な視点から子どもや家庭の実態をふまえ、真剣に議論することが必要ではないでしょうか。自ら学ぶ力を育てるためには、楽しい授業があり、仲間と学び合え、地域の中で活動でき、自己肯定感が高まる経験を積むことが求められています。

2.「小中学校を通して学習内容を確実に定着させる仕組みづくり」について

今後の方向性

(1) 家庭学習を定着させるため、予習・授業・復習のサイクルが自然に成り立つような、宿題も意識した授業づくりを行う。

(2) 学習内容の小さなまとまり(単元)ごとに確実な定着を図り、該当学年において身につける

べき学力を保証する取組を進める。

(3) 学校全体で家庭学習の質と量の向上に取り組み、特に中学校では、担当教員が宿題の内容の定着状況の確認や家庭学習の点検・支援を行うとともに、外部人材の活用などにより、日々の指導を徹底・充実していく。

具体的な方策

＜学校改善プラン＞

各学校の学力向上に向けた具体的な取組（学校改善プラン）を支援する。

＜学力向上推進チームの設置＞

学校改善プランを重点的に支援するため、学力向上推進チームによる学校訪問指導を実施する。

＜算数・数学学力定着事業＞

単元ごとに一人ひとりの習熟の度合いを把握・分析し、指導・支援を行い、学習内容の確実な定着を図るため、算数・数学について単元テストを実施することで、県全体の算数・数学の底上げを行う。

＜少人数学級編成の研究校の拡大＞

生徒一人ひとりが、学級集団にスムーズに適応し、学ぶ楽しさを実感し、基本的な学習習慣や基礎的な学力を身につけることができるよう、中学校の少人数学級編成の研究校を拡大する。

＜学習ガイダンスの推進＞

中1ギャップを解消し、小学校から中学校への学校生活や学習がスムーズにつながるよう、新入生を対象とした人間関係づくり及び学習の仕方などのオリエンテーションを実施する。

＜見解＞

県教委は、小中学校で学習内容の定着をさせるために、各校ごとに「学校改善プラン」を立てさせようとしています。しかも、そのプランがどれだけ達成されたかを評価し、さらなる改善を求めていくために「学力向上推進チーム」がつけられ、学校訪問し、点検評価・改善指導をさせるというものです。このことは、学校の独自性を否定し、教育内容への介入に他ならず、大変な危険性を感じます。

さらには、算数・数学については一律的に「単元テスト」を導入し、テスト結果を県が集約でき

るしくみをつくろうとしています。「単元テスト」で一定の点数を上げる即効性は期待できるでしょうが、本当の算数・数学の力を引き上げるものとはなりません。わかる授業の中で、算数や数学に対する関心が高まり、児童生徒が学習的価値を見出す時、はじめて成果となるのではないのでしょうか。そして、一律的な「単元テスト」実施は現場教師の自主編成を著しく制限し、ますます反復学習中心の授業展開が予想されます。子どもにとっても無味乾燥な勉強として受け取られ、ますます算数・数学嫌いの子どもたちが増えることが予想されます。

また、家庭学習の点検支援の方向性が示されています。しかし県教委は過去に「サイクル学習帳」を作成しましたが、家庭の状況を考慮しなかったために、学校現場だけでなく、子ども・保護者にも受け入れられませんでした。

これらの方策は、すべて全国学テの結果向上に収斂（しゅうれん）される仕組みとして考えられており、評価することができません。

唯一、少人数学級編成の研究校拡大を挙げていることは評価できます。しかしながら、中学3年までの拡大や具体的な数値目標が示されていません。教育方法や内容は細かく指示をする反面、教育条件整備については方向性を述べるのみで具体性が不十分なことは残念です。

提言

①一人ひとりの児童生徒がゆったりと学べ、教員もじっくり関わるためには少人数学級の実現が決定的に重要です。30人学級を全ての学校に拡大します。

②学習内容を確実に定着させるために、まず「わかる」授業を展開しなければなりません。教師は児童生徒が学習する価値をつかみ、自ら問いを持ちながら、学習できる授業設計をしなければなりません。教材研究時間確保のために、教員の持ち時間数の軽減をします。1人あたり、小学校で20時間に、中学・高校で15時間に引き下げることのできる教員配置を行います。

③すべての中学校に各教科の免許を有する教員を配置し、生徒が専門的な学習ができるようにします。県内での免許外教員(06年度文科省調べでは186件)の解消を進めるため、不足している教科教員の採用を早急に行います。

④約800人の臨時教員が高知の教育を支えるために日夜奮闘をしています。しかもその半数は本来正規採用者で補われるべき定数内での着任です。教員自身の生活が不安定な中で、教育活動に専念することには無理があります。採用増による定数内臨時教員の解消をします。

⑤教育行政が学校や教育内容に介入する「単元テスト」は実施しません。算数・数学に限らず、教科学習に関心を持ち、力をつけるために、教員は学習指導要領を批判・検討し、児童生徒の実態に合わせながら、学習の順序性や系統性のある教材編成をし、学習内容の補強や入替をしながら、豊かな教材で楽しくわかる授業を行うようにします。

3. 学力向上のための目標設定と課題を有する学校への重点支援

今後の方向性

学校全体で学力向上のための目標を設定し、PDCAサイクルにより目標が達成できるよう学校の組織的な取組を支援する。学力の定着状況に課題を有する地域や学校に対しては、校内の学力向上対策の企画やコーディネートを行う指導的な教員、専門的な知識や技能を持った教員OBなどを計50名程度配置する。

具体的な方策

＜学力向上のための学校重点支援事業＞

(指導改善加配)

学力向上に意欲的に取り組む学校を支援するため、学校全体で学力向上に取り組むための企画やコーディネートを行うための教員を加配する。

(教科指導エキスパート派遣)

専門的な知識や技能を持った退職校長等を、学力向上指導改善のための加配をする学校に、主に数学・国語の教科指導のエキスパートとして派遣し、指導改善のための支援や助言等を行う。

(中学校学力向上対策非常勤講師配置)

教員が子どもに向き合う時間を拡充するため、授業での個別学習や放課後の補充学習の支援、家庭学習の点検及び支援を行う非常勤講師を配置する。

＜学力向上実践研究事業＞

高知県小中学校長会が行う学力向上に関する実践研究に対して補助を行う。

＜見解＞

「課題を有する学校」を読み替えれば、全国学力の結果が全国平均より低い学校ということ。この学校の「学力状況」を徹底して改善させるために、教員、教員OB、非常勤講師を配置し、「学力向上」のPDCAサイクルを確立させようとしています。その中味は、加配された教員は家庭学習用教材(業者作成)を宿題に出し、週1回チェックテストをします。一定の点数に足りていない者をリストアップし、放課後に指導します。また、教科指導エキスパートは指導改善のための支援・助言等を行います。一見、放課後指導も「エキスパート」による指導もふだん行われていることを学校外の者に代行してもらうように思われますが、大変危険な側面があります。これらは短期間で目標達成を迫られるわけですから、教員にしても子どもにしてもかなりの負荷がかけられ、追い込まれます。目標に達しなければさらなる改善を求められることとなります。これがPDCAサイクルなのです。「エキスパート」の配置もPDCAサイクルの強化・徹底につながるものが危惧されます。

具体的方策の中でいう「教員が子どもと向き合う時間を拡充するため」というのであれば、教員一人あたりの持ち時間数削減のための正規教員増や放課後の時間確保が求められます。

提言

①重点支援関連予算の使い道を見直し、学校の課題や校内研究充実のために、各校に配分します。

②教育事務所、教育研究所、教育センターに配置されている指導主事や研修指導員等は学校現場のニーズに応じて活用できるようにします。

③きめ細かな学習や生活の指導をする上で、放課後の時間は特に重要です。そのための時間確保として、校務分掌や研究組織を見直します。

④子どもと向き合う時間確保のため、報告書類の削減、簡素化を行います。特に、復命書の簡素化、学校事務にかかわる文書作成を大幅に見直し、縮小します。

⑤部活動については生徒・教員の負担増や学習活動に支障をきたしている実態があります。職場からあり方について検討していきます。今後、社会体育への移行を視野に検討をすすめていきます。

4. 高校入試制度の見直し

今後の方向性

中学生の学習意欲を引き出し、義務教育で必要である学力の定着を図る観点などから高等学校の入試制度の改革を進める。

具体的な方策

＜高校入試制度の見直しの検討＞

高等学校入学者選抜制度や学区制度等の見直しを行う。

＜見解＞

緊急プランでは「中学生の学習意欲を引き出し」「学力の定着を図る観点」から高校入試制度を見直すことが示されています。その具体化として「前期選抜への学力検査の一律導入」や「学区制撤廃を視野に入れた見直し」の方向性が県立高等学校教育問題検討委員会から報告されています。しかし、入試制度の見直しが学習意欲の向上や学力の定着につながるというのは短絡的な発想ではないでしょうか。

むしろこの見直しがさらなる競争を煽ることにつながり、この間指摘されてきた「学力の格差」のもとでの「低学力層」の学習意欲の減退と、さらなる「学力格差」をもたらすことが予測されます。

入試制度について議論し改善していくことは必要ですが、「学力向上」の問題として位置づけるの

ではなく、希望するすべての子どもたちに高校教育を保障していくために入試制度はどうあるべきかについて、時間をかけて県民レベルで議論していくことが大切ではないでしょうか。

おわりに

何よりも、子どもたちが学習を好きになるようにしていきましょう。

教職員がゆったりと落ち着いて教育に専念できるようにしていきましょう。

教育行政は、そのために必要な諸条件の整備確立を行われなければなりません。

緊急プランは中学校への対策を意識したものとなっていますが、現場の実態からかけはなれた内容となっています。特に中学校現場の中には、授業の成立が困難な状況、問題行動にふり回される生徒・教職員の実態があります。さらに部活動の負担により、学校・家庭での学習活動に影響が出ています。県教委はこの現状に向きあうべきです。

また改悪教育基本法のもと、国の教育統制は新学習指導要領をてこに学校現場にまで及ぶようになってきました。今こそ「土佐の教育改革」の積極面を生かし、高知の子は高知のやり方で育てるという気概をもつことが必要です。

国からの教育統制やトップダウンの手法ではなく、子ども・保護者・地域住民・教職員による「参加と共同の学校づくり」をしていきましょう。同時に必要な条件整備については、国や県に積極的に要求していきましょう。

この提言に対するご意見ご感想をお寄せ下さい。

高知県教職員組合

〒780-0850 高知市丸ノ内2-1-10

Mail kochikenkyouso@mb2.seikyoku.ne.jp

Tel 088-822-4135

Fax 088-823-2355

高知県高等学校教職員組合

〒780-0850 高知市丸ノ内2-1-10

Mail gomachan@ma3.seikyoku.ne.jp

Tel 088-822-6822

Fax 088-822-6823